

東蟹谷地区意見交換概要

日時 平成 30 年6月8日(金)

場所 東蟹谷公民館

出席 75 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	第7次総合計画の構想がはじまる。小矢部市は富山県の西の玄関口と言われており、アウトレットの周辺は賑やかになっている。しかし、当地区には小矢部インターがあるが、当地区はなかなか発展していない。第7次総合計画で考えはあるのか？企業誘致についての考えも聞かせてほしい。	小矢部インター周辺は、本市の玄関口であり企業立地をすすめるうえでも重要な場所である。小矢部市は地理的優位性があり、ポテンシャルも非常に高い。フロンティアパークの分譲率は95%であり、残り2区画となっている。完売後に新しい企業団地を造成することは難しいので、進出企業の希望にそったオーダーメイドの団地を造ることになる。企業には、特に小矢部インター周辺に進出してほしいと積極的にアピールしてきたい。中小企業大学校用地もあり、企業からも小矢部インター周辺は注目されている。しっかりと企業誘致に取り組んでいきたい。総合計画の中に位置づけてやっていく。
2	小矢部インターから石動市街地やアウトレットまでの道路整備をお願いしたい。	国道や県道もあるので、しっかりと国や県に要望してきたい。道路特定財源がなくなり、道路整備も難しくなってきたが、引き続き、みなさんと一緒に要望していきたい。
3	光回線は、フロンティアパークにはきているが、東蟹谷地区、北蟹谷地区にはきていない。企業も困っているという話も聞く。市からNTTに要望されているのか？	69 局の地域には、残念ながら光回線はきていない。光回線の要望をいただき、市からNTTにも要望はしている。人口密度などを考えると、難しいというのがNTTの回答だ。交渉を重ねているが、実現されていない。企業の発展や企業誘致の観点からも、非常に大事な政策であるので、第7次総合計画に位置づけて取り組んでいきたい。
4	空き家になると、屋敷林や住宅が荒れて、タヌキやキツネなどの獣が住みつくようになり、怖い。空き家の整備を進めないと、住み良い町にならない。①空き家は東蟹谷地区・小矢部市に何軒あるのか？②空き家になった場合に、解体の補助はあるのか？③空き家を壊し、更地にすると、固定資産税が高くなると聞いたが、その問題も検討していかないと、解体する人が増えないのではと思う。④空き家の跡地を、宅地から雑種の地目に変更することはできないのか？	①空き家調査をしているが、小矢部市では、平成24年の調査では424戸、平成29年の調査では545戸となり約120戸増えている。東蟹谷地区では、平成24年には16戸、平成29年は18戸だった。空き家は、活用できる空き家と全く活用できない危険家屋にわけて調査を進めている。空き家も個人の財産なので、行政が解体することは難しいが、所有者に管理をするように指導している。 ②解体の補助金は、2分の1を補助している。上限は50万円。 ③更地にすると固定資産税が6倍になるとのことだが、住宅が建っている土地は6分の1に軽減されている。住宅がなくなると元に戻るだけなので、高くなるわけではないということを理解していただきたい。 ④課税は、現況の土盛りの状態を見るので雑種地にはできない。

No.	発言要旨	市長回答要旨
5	地球温暖化の影響もあり、線状降水帯による大雨で、水害の被害が全国で発生している。昨年の10月23日の台風21号の影響で、小矢部川も氾濫危険水位を超え氾濫しそうになっていた。私の提案だが、大雨が予想される時には、農業に支障がない範囲で田に水をため、河川への排水を少なるすることで、水害を防ぐことができると思う。田はかなりの水をためることができるので、大きなダムとして機能する。小矢部市だけではなく、砺波、南砺、高岡などの近隣市と連携してやっていけば、災害のない呉西地区になると思う。	大変貴重なご意見をいただいた。国土保全の観点からも、農業が見直されてきている。もともと田は雨水を一時的に貯水する機能があるので、洪水を防止する役割も果たしていると思っている。この機能を更に拡大すべきとの提案だと思うが、今後の防災対策に活かしていきたい。
6	光回線について、先程、NTTでは難しいとのことだった。企業誘致、定住促進、2地域居住などの施策を進めていくには、光回線の整備は必要になると思う。今の時代は、企業にとっても、個人にとっても、光回線があることは絶対必要条件になってきている。光回線の整備を、お願いしたい。	先程は、NTTとの交渉の話で難しいと回答した。69局は未整備なので、全市内を網羅できるように要望している。ケーブルテレビのTSTでは、光ケーブル化を検討されている。市内のケーブル更新の時期にあわせて、できないか考えている。第7次総合計画に位置づけて、しっかりと取り組んでいきたい。
7	他市の話だが、財政状況の悪化について、市民への情報開示が遅かったと思う。悪い情報も市民に伝えることも非常に重要だと思う。小矢部市の情報開示のスタンスを聞きたい。	情報公開は、重要だと思っている。行政にとって、都合の悪いことも包み隠さず、開示していくスタンスでやっている。
8	財政状況について、今回も市政の財政状況は心配ないとのことだったが、国も借金が多い。今、金利がほぼ0%だが金利の上昇リスクもあると思う。市の財政の指針やガイドラインなどがあれば教えてほしい。	実質公債費比率が、判断基準になっている。地方財政計画により、収支の見直しをしている。金利の変更については、市の借金は基本的に固定であり変動ではないので、見直しができる。できるだけ負担を減らすため、有利なものへ借り換えもしている。
9	新聞にメルヘン建築に若者を集めるイベントの記事があった。観光客がたくさん集まるということで、とてもよいと思った。	市内でコスプレイベントを開催されている。コスプレイヤーからも、小矢部市の評価は高い。コスプレイベントは、一大イベントになっていくと思っている。
10	3つの保育所が統合して1つのこども園になり、こども園が避難所になると思う。太陽光発電をつけていても、停電になってしまうと電気を発電しない。バッテリーをつけることによって、配電線に電気がこなくてもバッテリーからの電気で、発電することができる。こども園の予算は限られていると思うが、防災の観点から、太陽光発電とバッテリーの整備を検討してもらいたい。	安全・安心は非常に重要だ。防災対策については、防災会議を開催して、防災計画を見直している。邑知渦断層が動くと被害が大きくなるとの想定で、全て見直している。避難所は安全・安心が第一だ。避難所として活用できるものは、協議し検討していきたい。
11	小矢部にもスーパー銭湯ができるが、タワーの湯や寿永荘について残せるものは残して欲しい。経費をあまりかけずに長く使えるような方法で、存続してもらえればよいと思っている。	タワーの湯については、給湯管が非常に老朽化しており、取換えに数億円の経費を要する。利用者がたくさんいればよいが、利用者は減ってきている。その上、スーパー銭湯ができると状況はより厳しくなり、維持は難しくなっている。寿永荘については、老朽化しており、運営協議会で検討した結果、現地で建て替えは難しいので、寿永荘の機能を、民間施設に移管することになった。

No.	発言要旨	市長回答要旨
12	小矢部野球場の改修ときめ細かい施設管理を要望したい。ファウルラインの芝生化、ベンチ裏の外壁修理、枯れた樹木の伐採などをお願いしたい。維持管理がうまくいっていないように感じるので、なんとかしてほしい。	運動公園の野球場は、指定管理者がいるので、指定管理者にしっかりと伝える。指定管理料には、軽微な修繕や除草、清掃などの費用もはいつている。市から指定管理者にしっかりと管理するように伝える。改修については、野球連盟とも協議し、要望があれば対応していきたい。
13	サイクリングターミナルのソフトボール場についても、改修を要望したい。フェンスやバックネットに穴があったり、グラウンドがガタガタになっていたりしている。支配人が、グラウンドの整備や草刈りをされているようだが、改修が必要だと思う。	サイクリングターミナルのソフトボール場については、整備していきたい。第7次総合計画にも盛り込みたいと思う。
14	若者が都会に進学し、都会で就職してしまう。都会に集中する傾向になっている。小矢部市に戻ってくるメリットや小矢部の良さを若者にPRしているのか？小矢部市を教育ゾーンとして開発し、こども園の近くに住宅を整備していけば良いと思う。また、高齢者が増えると買い物弱者も増えてくるので、買い物弱者のための商業施設の誘致も検討してほしい。	人口は、首都圏、東京一極集中になっている。都会に行った若者に小矢部市に戻ってきてもらえる政策が必要だと思っている。10年後の成人式と35歳同窓会を開催しアンケートをとると、男女共に、7割以上が帰ってきたいとあった。なぜ来ないかと聞くと、「住みやすいところ」と「住みたい」ところのマインドが違うと言われる。「住みやすいけど、住みたくない」ということがあるようだ。「住みやすいし、住みたい」と思ってもらえるよう若い人に情報発信をしていきたい。子育て支援、教育環境、買い物弱者に対する支援、公共交通などを充実させていきたいと思っている。